第2回 南山大学・豊田工業大学 連携講演会

テーマ・環境

日 時

10月21日(日) 13:30~16:00

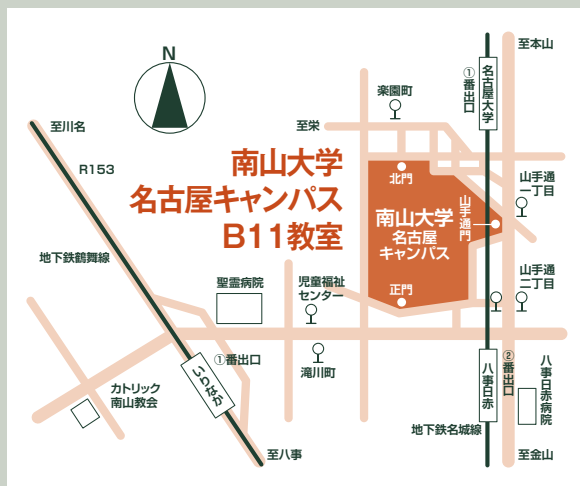
会 場

南山大学名古屋キャンパスB11教室

スケジュール

- 会場校　南山大学学長挨拶
- 連携趣旨と概要・実績等の紹介
- 講演①「法制度は環境の味方になれるか?」
- 講演②「未来を拓く環境にやさしい太陽電池」

ハンス ユーゲン・マルクス南山大学長



南山大学

法科大学院教授
総務・将来構想担当副学長
丸山 雅夫

法制度は環境の味方になれるか?

かつて「公害大国」と呼ばれた日本は、その後の努力により、「公害を克服した国家」という評価を受けるまでになりました。公害対策・救済の場面で法制度が果たした役割は、民事法理論・民事裁判における発想の転換をはじめとして大きなものがあります。また、立法面においても、「事後的な公害対策から積極的な環境保護へ」という動きが見られます。他方、現在の環境問題は、国境を越えるばかりでなく、世代をも超え、「環境」概念そのものも拡散しています。こうした中で、法制度は、環境保護にどのように貢献できるのでしょうか。本日は、法制度への期待とその限界について考えてみます。

豊田工業大学

大学院工学研究科教授
山口 真史

未来を拓く環境にやさしい太陽電池

太陽電池を用いた太陽光発電システムは、地球環境問題やエネルギー問題を解決する手段として、世界中から大きな期待が寄せられております。2030年には、日本の総電力の1割を太陽光発電が占め、2100年には、世界のエネルギーの7割がこうした太陽エネルギーで賄われるだろうと予想されています。こうした太陽エネルギーを活用し、人類文明の維持発展と地球環境問題の解決のためには、太陽電池を用いた太陽光発電のさらなる発展が必要です。ここでは、太陽光発電の意義、色々な太陽電池の特徴、太陽電池の研究開発や生産の状況、今後の方向性を紹介します。

申込方法　ハガキ・FAX・E-mailにてお申込下さい。(電話申込は不可)。参加希望者(1通につき1名)の住所、氏名、年令、電話番号をご記入下さい。
先着400名様に『招待券』をお送りします。

定　員　400名(先着順・無料)

申 込 先　南山大学学長室「連携講演会」係
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18　FAX 052-832-0666　E-mail pr-gaku@nanzan-u.ac.jp

問 合 先　豊田工業大学渉外広報部　TEL 052-809-1778

個人情報の取扱について　●収集した個人情報は、受講・キャンセル受付、受講票の作成・発送、受講者リスト作成、講演会受付・今後の講演会開催のご案内のために利用します。　なお、収集した個人情報は、受講票発送手続きのために委託業者にも提供いたします。

豊田工業大学